

春野中央保育園及び石立保育園プール塗装改修工事

春野中央保育園プール塗装改修工事

図面番号	図面名称
A-01	改修特記仕様書(1)
A-02	改修特記仕様書(2)
A-03	改修特記仕様書(3)
A-04	付近見取図・配置図兼仮設計画図
A-05	改修前平面図・展開図・劣化改修表
A-06	改修後平面図・展開図
A-07	改修前断面図・改修後断面図

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
27 事業損失補償	※現場説明書による。	5 監督職員の備品等	備品等の設置 備品の種類 机・椅子 書棚 黒板 PC 掛時計 数量 組 台 枚 台 個 備品の種類 温度計 ゴム長靴 雨がっぱ 保護帽 懐中電灯 数量 個 足 着 個 個 備品の種類 衣類ロッカー 冷暖房機器 消火器 湯沸器 加入電話付属器 数量 人用 台 個 台 台 備品の種類 掃除具 数量 個	外壁改修工事(共通事項)	可とう性エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。 比重 押出し性(秒) スランプ(Mm) 質量変化率(%) 引張り強さ(MPa) 破断時伸び(%) 引張り接着性 表示値±0.10 60以下 3.0以下 5.0以下 低温 1.0以上 低温 30.0以上 最大引張強さ1.0MPa以上 破断時の伸び10.0%以上 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。
29 完成写真	下表のものを監督職員に提出する。 位置 分類・規格 撮影枚数 部数 原画の大きさ(mm) 各室 手札版(L版) ※2枚・枚 ※1部・部 ・100×125以上 外部 キャビネ版 ※4枚・枚 ※1部・部 ・24×36以上 外部 半切パネル(木製枠※アルミ枠) ※1枚・枚 ※1部・部 スライド ※1部・部 カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。 撮影箇所は監督職員と協議する。 上表のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等に提出する。 画像形式等 フォーマット: JPEG 画質:標準 画像サイズ:1024×768ピクセル程度	6 工事用水・電力	構内既存の施設(用水) ○利用できる (※有償・無償) ※利用できない 構内既存の施設(電力) ○利用できる (※有償・無償) ※利用できない 構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a)～c)による。 a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。 b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。 c) 工事用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態等を確認し、既設負荷への波及がないようにする。 また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。 構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a)～c)に下記d)～e)を加える。 d) 工事用水は、既存設備に量水器を設けて、仮設配管を施し使用するものとする。 e) 工事用電力は、原則、既存設備に電力計を設けて、仮設配電盤を設置し、使用するものとする。 四国電力送配電網などの架空線に防護管の設置が必要な場合は、監督職員と協議する。 ※ 図示 ※ 原形の復旧 ・良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ() [2.5.1]	1 材料品質	バテエポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。 初期硬化性(MPa) 接着強さ(MPa) 圧縮強さ(MPa) 曲げ強さ(MPa) 硬化収縮率(%) 標準2.0以上 標準6.0以上 50.0以上 30.0以上 3.0以下 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 4)試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。
30 別途設備工事との取合い	施工範囲 費通孔、開口部の補強 ※下表 図示 壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※下表 図示 駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 補強種別 内容 貫通孔、開口部の補強 梁 壁 スラブ 壁切込み及び補強 天井切込み及び補強	7 仮囲い	※ 図示	エポキシ樹脂モルタル [4.2.4] JIS A 6024による。 だれ 接着強さ(MPa) 圧縮強さ(MPa) 曲げ強さ(MPa) 形状に異常がなく、だれが生じないこと 1.0以上 20.0以上 10.0以上(3日後の値) 1)こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 4)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月間保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目の規定に適合していること。	
31 撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。	8 仮設物撤去後の整地・断片付け	※ 図示	ポリマーセメントモルタル [4.2.4] だれ 曲げ強さ(N/mm2) 圧縮強さ(N/mm2) 接着強さ(N/mm2) 特殊条件 下がり量 表面状態 びわおれの発 生がないこと 6.0以上 20.0以上 1.0以上 0.8以上 0.5以上 1)透水性 裏面のぬれ、水滴の付着がないこと。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。	
32 不当要求等への対応	暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次による。 a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。 d) 受注者が、不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。	9 プール塗装改修工事	○(a) コンクリート製プールは塗装する10日以上前に排水し、塗装に悪影響を与えないように十分乾燥させる。 ○(b) 塗装されたコンクリート面、モルタル面、鉄鋼面、アルミニウム面、ステンレス面の下地調整の工法はRA種とする。なお、腐食による欠損や溶接部のひび割れ等がある場合は処理については、監督職員と協議する。 コンクリート面、モルタル面、鉄鋼面、アルミニウム面、ステンレス面の下地調整の工程 下地調整の種別 工程 面の処理 RA種 既存塗膜の除去 汚れ、付着物の除去 ディスクサンダー、スクレーパー等により、塗膜及び錆等を全面除去する RB種 既存塗膜の除去 汚れ、付着物の除去 ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化し弱い部分及び錆等を除去し、活膜は残す。 ○(c) 未塗装のコンクリート面及びモルタル面は、高圧水洗機で水洗いし、十分に乾燥させる。 ○(d) FRP面の下地調整は、全面にディスクサンダー又は他の研磨機を使用して粗面とした後、アセトン全面拭きとする。 (a) 施工に当たっては、塗装面、その周囲及び床等に汚染または損傷を与えないようにあらかじめ塗装箇所周辺に適切な養生をする。 (b) 脱泡ローラー等を使用して気泡や凹凸を生じないように施工する。 (c) ガラスクロスライニング工法塗りの工程の種別は次の表による。 なお、各工程の塗付け量はライニング用材料の製造所の仕様による。 ガラスクロスライニング工法の塗り工程の種別 種別 工程 面の処理 GEU-1 GEU-2 GEU-3 GEF-1 GEF-2 GEF-3 下地調整 RA種 RB種 RA種 RA種 RB種 RA種 補修塗り ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 下塗り ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 下塗り(2回目) ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ガラスクロスライニング ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ I*杉樹脂ライニング ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 中塗り ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 上塗り ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 上塗り(2回目) ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ アールの素材 ○ コクリート、FRP 鋼板 コクリート、FRP 鋼板 工法:接着工法 継目:メーカー仕様による シーリング:メーカー仕様による t=2.9mm以上(屋外用、防汚性)(標準品)		
33 消防計画	工事の着手に当たり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。	10 その他工事	1 プールサイド用防汚性ビニル床シート 工法:接着工法 継目:メーカー仕様による シーリング:メーカー仕様による t=2.9mm以上(屋外用、防汚性)(標準品)	2 欠損部改修工法	既調査モルタル [4.3.10] モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和材等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 保水率(%) 単位容積質量(kg/L) 接着強さ(標準養生 温冷繰返し後) 長さ変化率(%) 曲げ強さ(N/mm2) 70.0以上 1.8以上 0.6N/mm2以上 0.4N/mm2以上 0.2以下 4.0以上 既調査モルタル [4.3.10] モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り 図示
34 工事特性等	受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。	11 監督職員事務所	工法:接着工法 継目:メーカー仕様による シーリング:メーカー仕様による t=2.9mm以上(屋外用、防汚性)(標準品)	3 仮設間仕切り(屋内)	※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6] 種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(mL/m) ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上1.0以下 ※200~300 ※製造所の仕様・130 ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 ※50~100 ※40 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 ※100~200 ※70 0.5以上1.0以下 150~250 ※130 コア抜取り検査 ※行わない ・行う(長さ500mmごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による) ○Uカットシーリング材充填工法 [4.2.6][4.3.7] ・シーリング材 充填材料 ※1成分又は2成分ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う・行わない ○可とう性エポキシ樹脂 [4.2.7][4.3.8] ・シーリング工法 ・バテエポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9] ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル ・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り 図示
仮設工事(改修)	1 足場その他 内部足場 ※きやつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※図示 材料、撤去材の運搬方法 ・防護シート・メッシュシート・防音シート・防音パネル ・A種 ※B種・C種・D種・E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示) ・屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。 2 養生 ○ 既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 [2.3.1] ・ 既存家具、既存設備等の養生 ※ビニルシート等 ・ 既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※ 図示 ・ 固定された備品等の移動 ※ 図示 開口部養生 ※窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。 3 仮設間仕切り(屋内) 設置箇所 ※ 図示 [2.3.2][表2.3.1] 間仕切り種別 ・ A種 ・ B種 ※ C種 A種、B種の場合 仕上げの材種 ※せっこうボード 厚さ9.5mm ・ 合板(普通合板)厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ・ 行う ※ 行わない 仮設扉設置箇所 ※ 図示 仮設扉種別 ・ 合板張り木製扉程度 ・ 図示 4 監督職員事務所 ・ 設ける(㎡程度) ※設けない				

高知市 都市建設部 公共建築課

春野中央保育園プール塗装改修工事

図面名 改修特記仕様書(2) 縮尺 1/

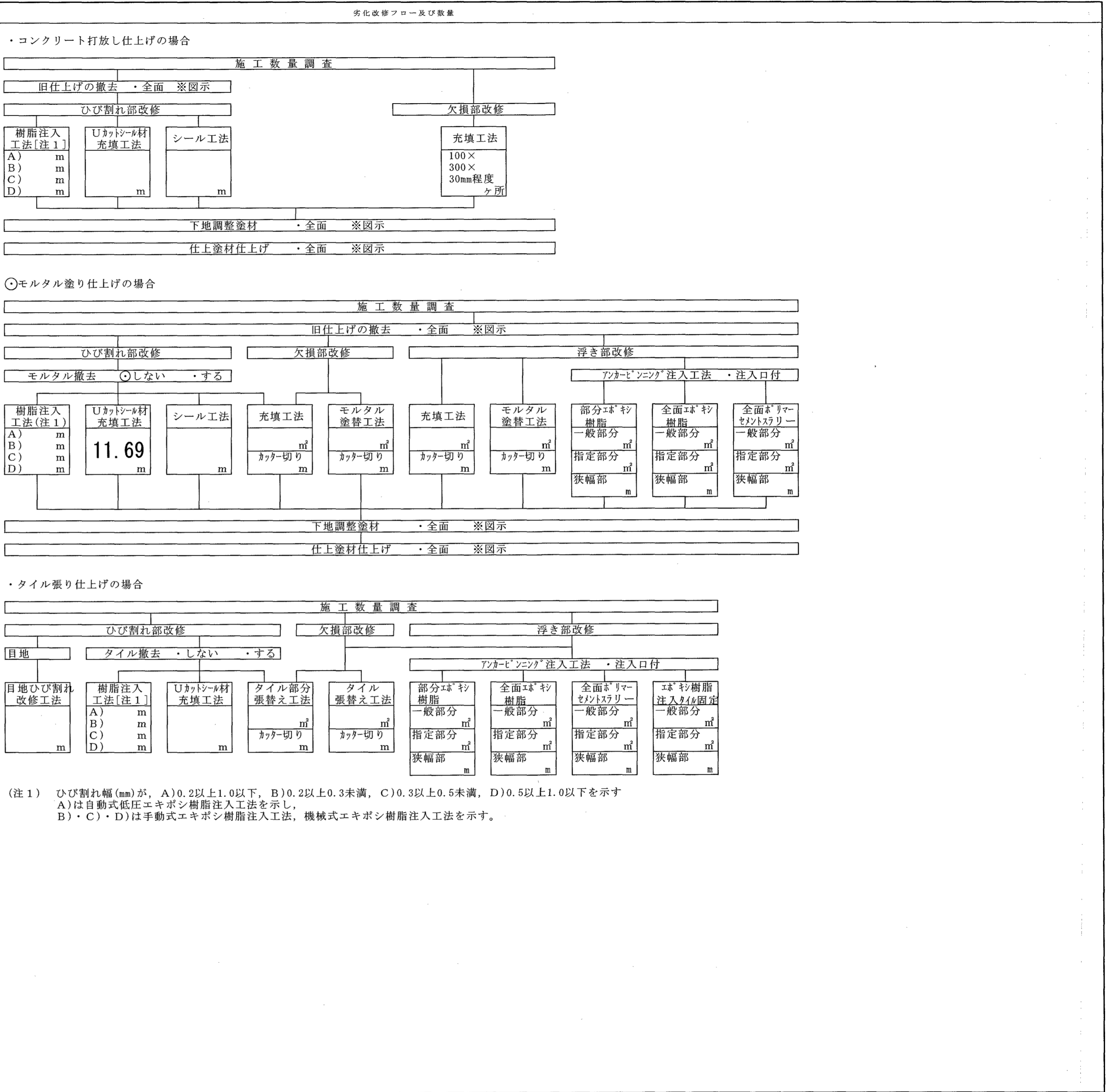
作図 令和6年10月 日

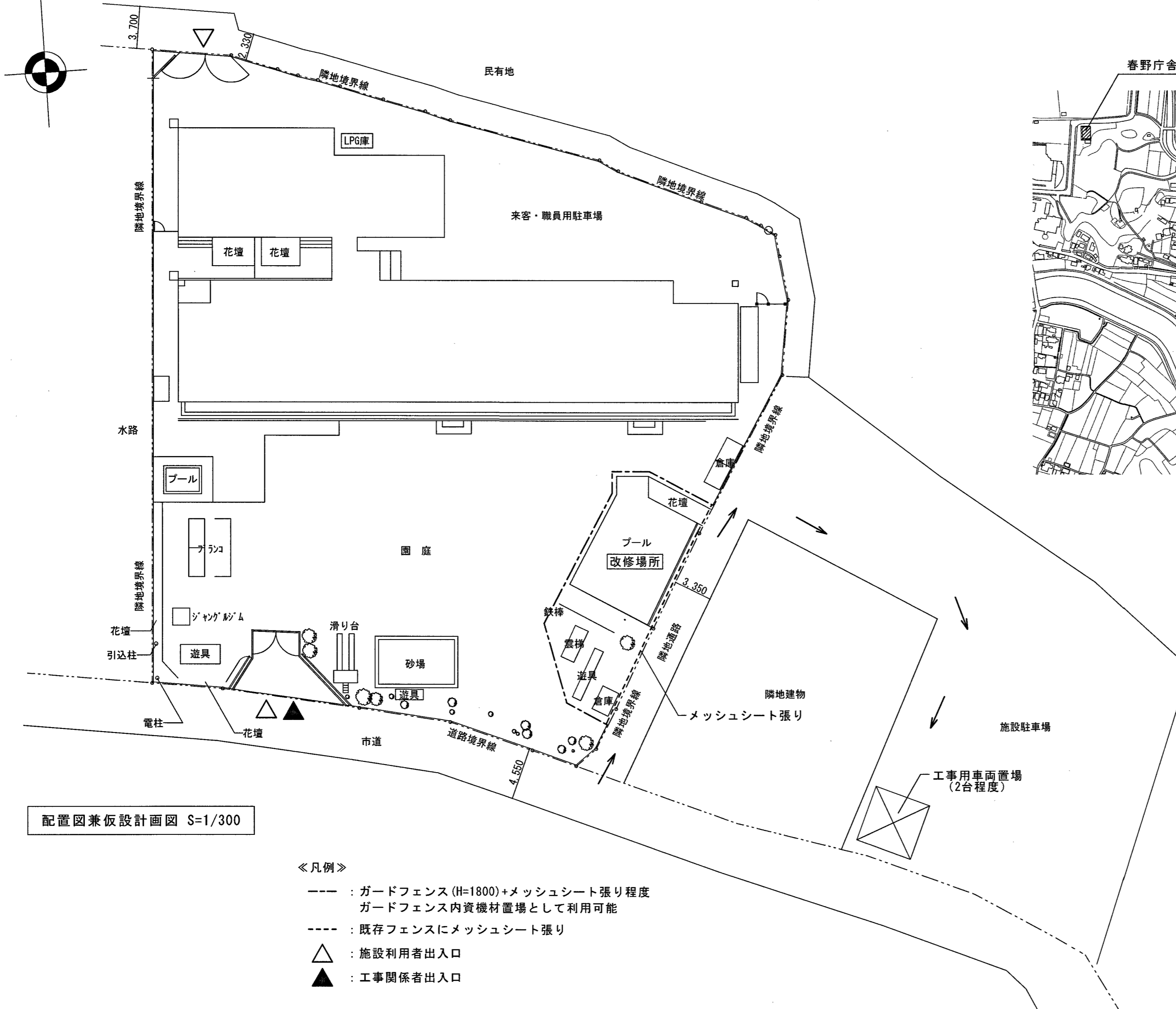
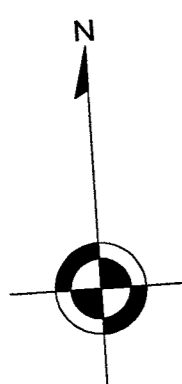
図面番号 A-02

項目	特記事項						
	アンカーピンの本数			注入口の箇所数			備考
3 浮き部改修工法	一般部分 本/m ²	指定部分 本/m ²	狭幅部 本/m	一般部分 箇所/m ²	指定部分 箇所/m ²	狭幅部 箇所/m	
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※25mL
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※25mL
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※50mL
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※25mL
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※25mL
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※50mL

アンカーピン [4.3.5]
 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。 [4.3.5]
 注入口付アンカーピン [4.3.5]
 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm [4.3.5]
 ・充填工法 [4.2.6][4.3.7]
 材料 ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル
 ・モルタル塗替え工法 [4.3.10]
 仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置
 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込, ステンレス製ラス等張り ・図示

左官工事	
① モルタル塗り	モルタル ※現場調合材料 ・既調合材料 () (15.3.2) 既製目地材 ・適用する(形状:※図示) (15.3.2) 床の目地 ・適用する(目地割り ※2㎡程度 最大目地間隔3m程度) (15.3.5) (種類 ※押し目地) () 外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ※行う ・行わない (15.3.5)

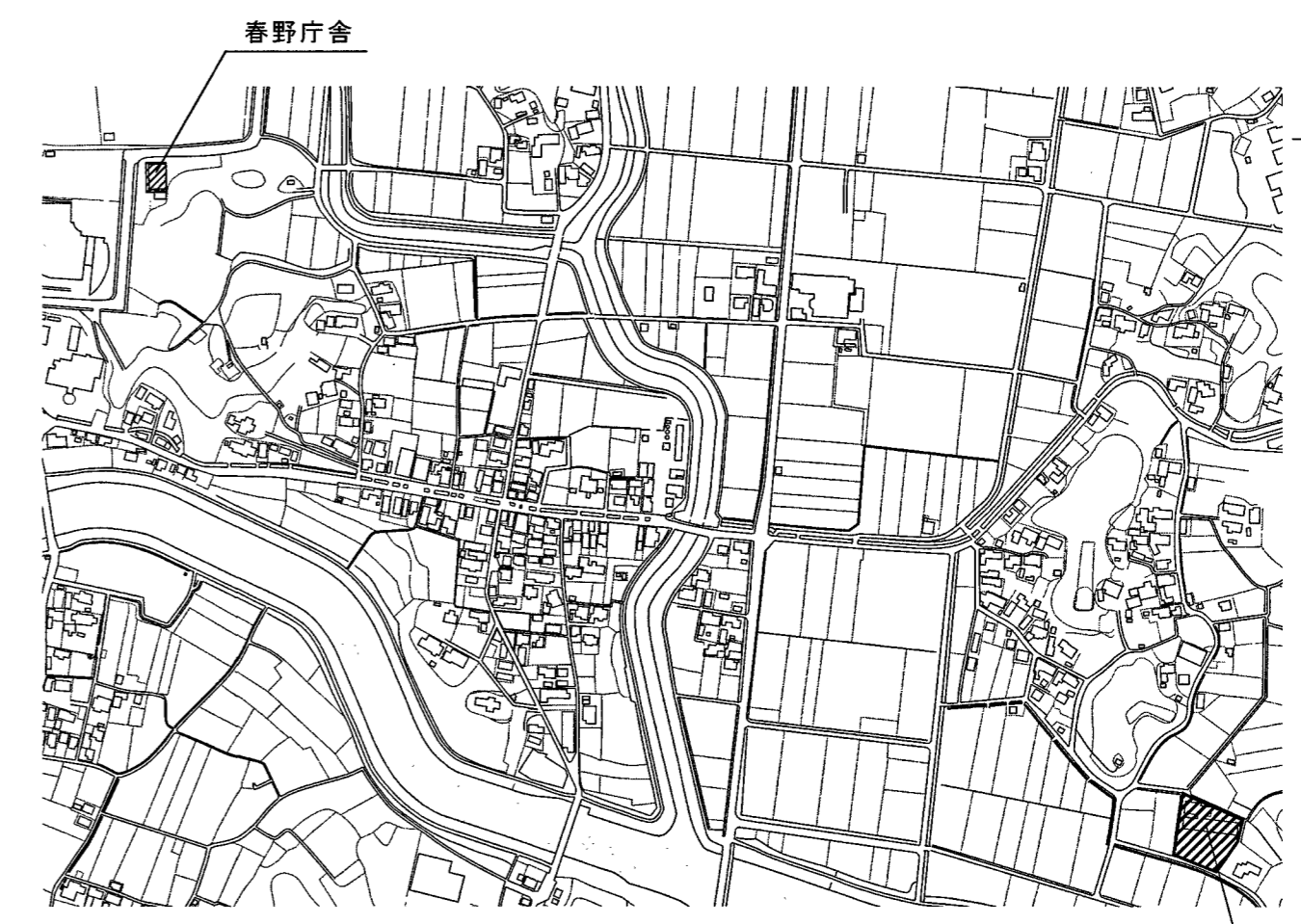




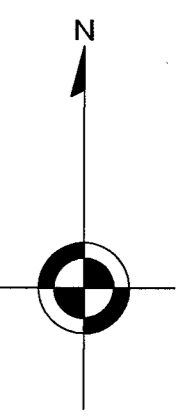
配置図兼仮設計計画図 S=1/300

- <凡例>
- : ガードフェンス (H=1800)+メッシュシート張り程度
ガードフェンス内資機材置場として利用可能
 - - - : 既存フェンスにメッシュシート張り
 - △ : 施設利用者出入口
 - ▲ : 工事関係者出入口

- ※施工条件
- ・12:30~15:00は園児が昼寝のため、騒音及び振動が出る作業を禁止とする。
 - ・12/26PM, 2/15終日は園の行事があるため作業を禁止とする。
 - ・工事車両置場は隣接する施設駐車場の一部(2台程度)を利用することができる。
※詳細は現地打合せによる。



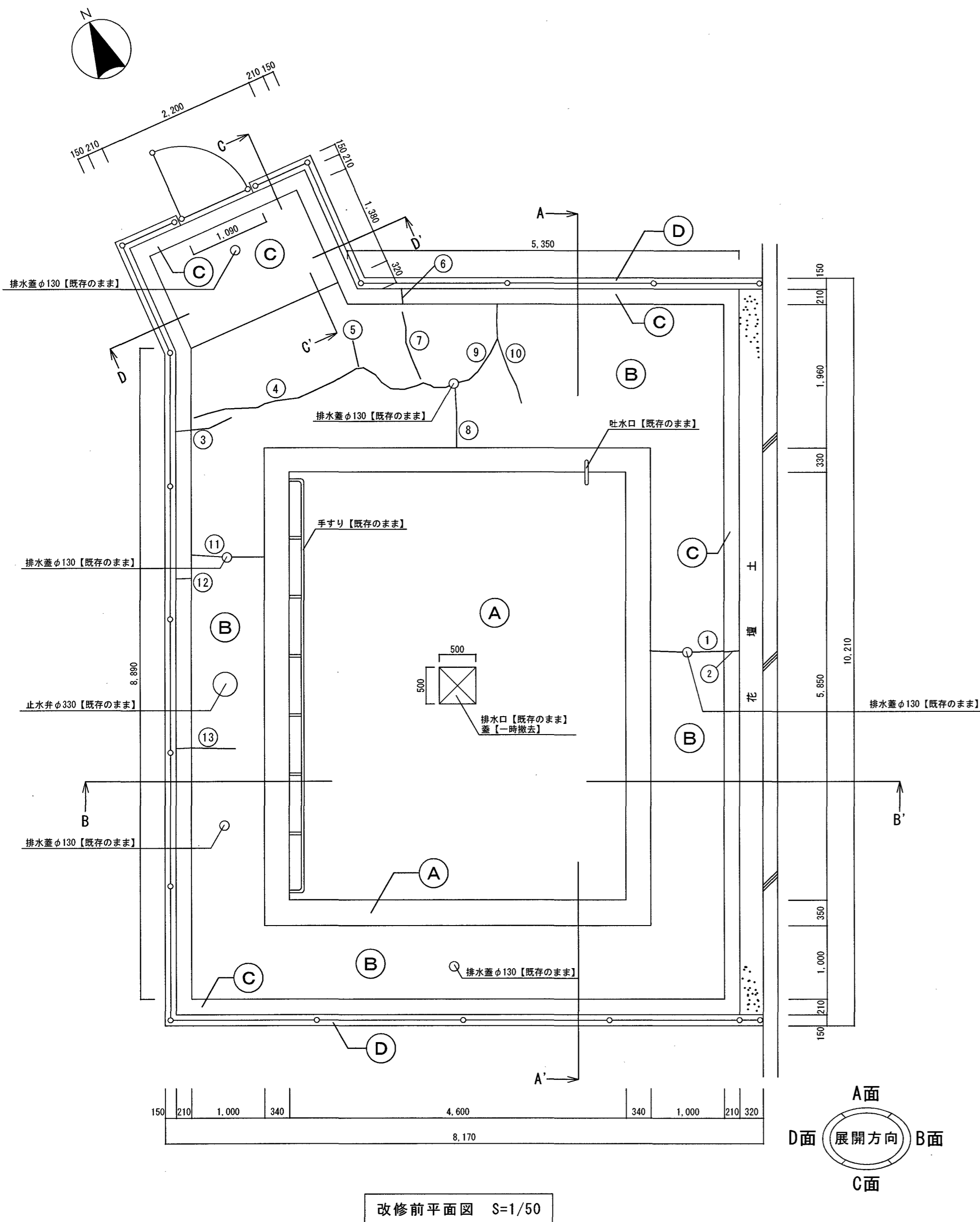
付近見取図



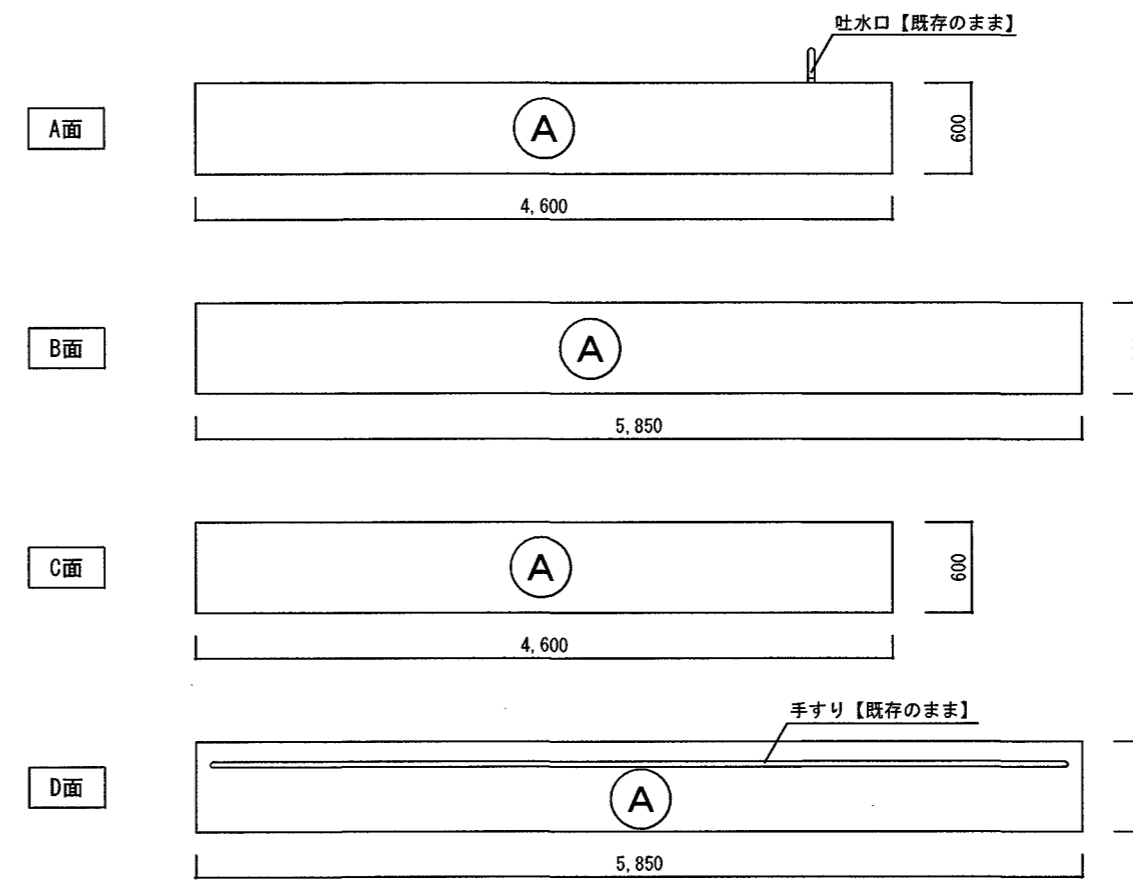
春野中央保育園

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	春野中央保育園プール塗装改修工事				係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	付近見取図・配置図兼仮設計計画図				縮尺	S=1/300		作図	令和6年10月 日
					鈴木	菅岡	松本	岡村	A-04



改修前平面図 S=1/50



プール立上り展開図 S=1/50

改修前仕上表

記号	部位	改修前
Ⓐ	プール	モルタル下地ウレタン防水【撤去】
Ⓑ	プールサイド	モルタル下地【既存のまま】ウレタン防水【除去】
Ⓒ	プールサイド端部・プール入口	モルタル下地【既存のまま】ウレタン防水【除去】
Ⓓ	フェンス基礎	コンクリート打放し仕上げ【既存のまま】

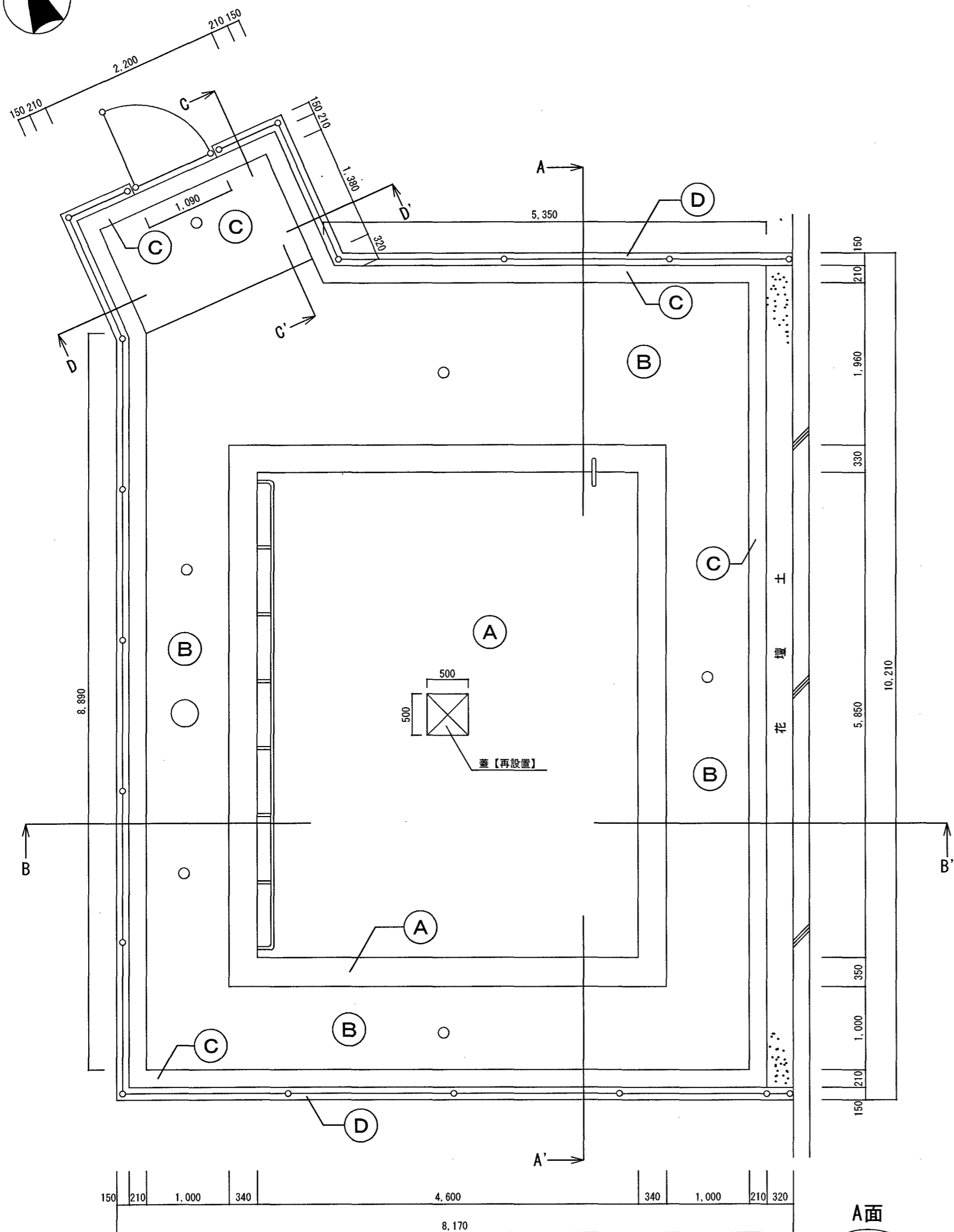
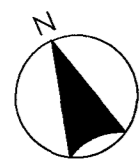
劣化改修表

リカットシール材充填工法(可とう性エポキシ樹脂)					
番号	幅(mm)	長さ(m)	番号	幅(mm)	長さ(m)
①	0.5	0.87	⑪	0.5	0.87
②	0.5	0.31	⑫	0.5	0.31
③	0.5	0.51	⑬	0.5	0.71
④	0.5	4.00	合計		11.69
⑤	0.5	0.40			
⑥	0.5	0.31			
⑦	0.5	0.95			
⑧	0.5	0.90			
⑨	0.5	0.75			
⑩	0.5	0.80			

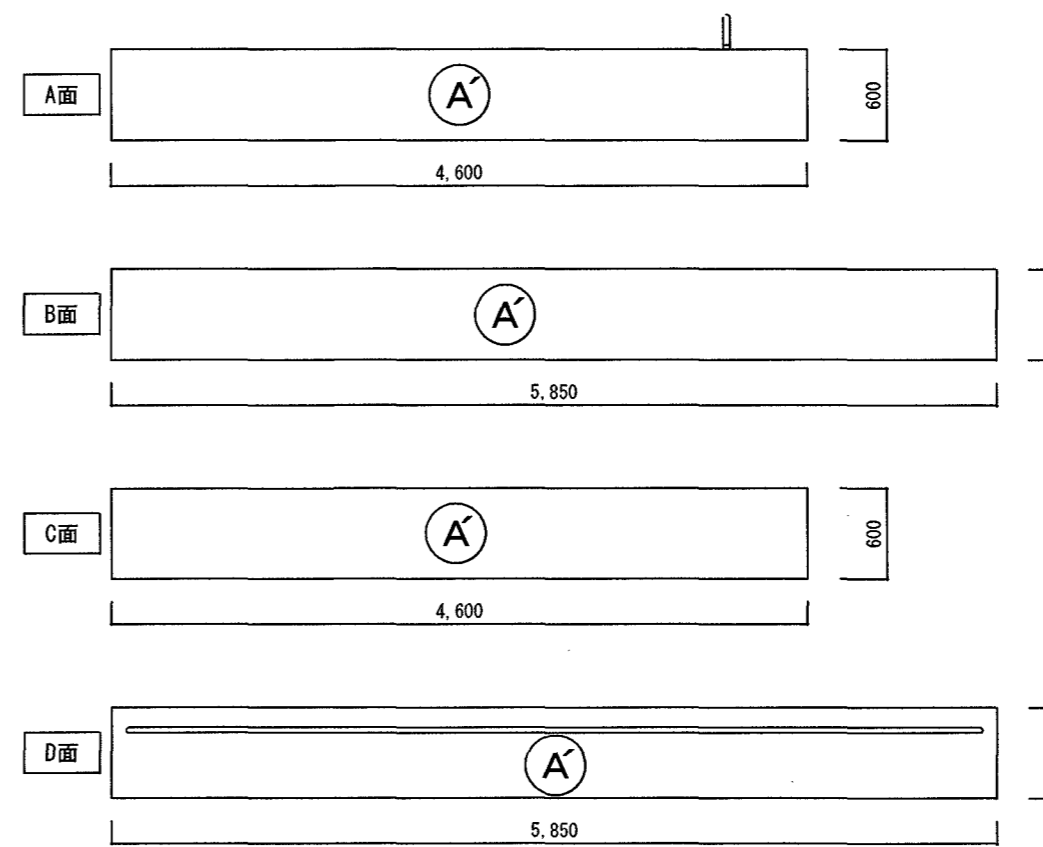
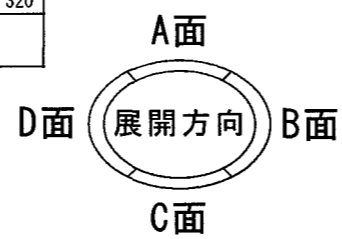
◎：プール端部立上り含む
 ※工法及び数量は予定であり、施工数量調査の結果により、変更を行う。

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	春野中央保育園プール塗装改修工事				係長	係長補佐	課長	図面番号
図面名	改修前平面図・展開図・劣化改修表	縮尺	S=1/50	作図	令和6年10月	日	A-05	



改修前平面図 S=1/50

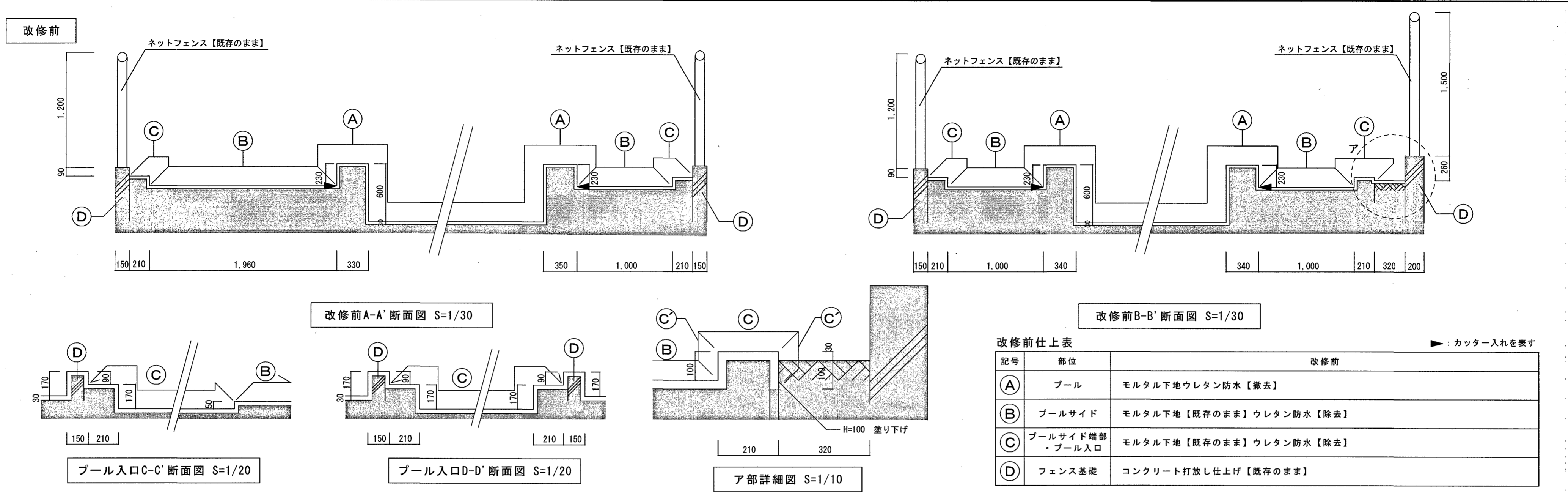


プール立上り展開図 S=1/50

改修後仕上表

記号	部位	改修前
Ⓐ	プール(平場)	下地:モルタル塗り t=30【新設】 仕上り:プール塗装ガラスクロスライニング防滑仕様ウレタン樹脂系仕上げ【新設】
Ⓐ	"(立上り)	下地:モルタル塗り t=30【新設】 仕上り:プール塗装ガラスクロスライニングウレタン樹脂系仕上げ【新設】
Ⓑ	プールサイド	下地:水洗い+既存塗膜防水除去+劣化改修+ポリマーセメントペースト塗り【新設】 仕上り:プールサイド用防滑性ビニル床シート【新設】 シート端部シーリング(メーカー仕様による)【新設】
Ⓒ	プールサイド端部・プール入口(平場)	下地:水洗い+プール用下地調整RA種+劣化改修 仕上り:プール塗装ガラスクロスライニング防滑仕様ウレタン樹脂系仕上げ【新設】
Ⓒ	"(立上り)	下地:水洗い+プール用下地調整+劣化改修 仕上り:プール塗装ガラスクロスライニングウレタン樹脂系仕上げ【新設】
Ⓓ	フェンス基礎	【既存のまま】

※ライニング用材料は水質(学校環境衛生基準(文部科学省告示)に定める基準)に悪影響を与えない材料とする。
また、防滑性を持たせるために塗装表面に混入する材料は鋭利な角度のない微細珪砂とする。

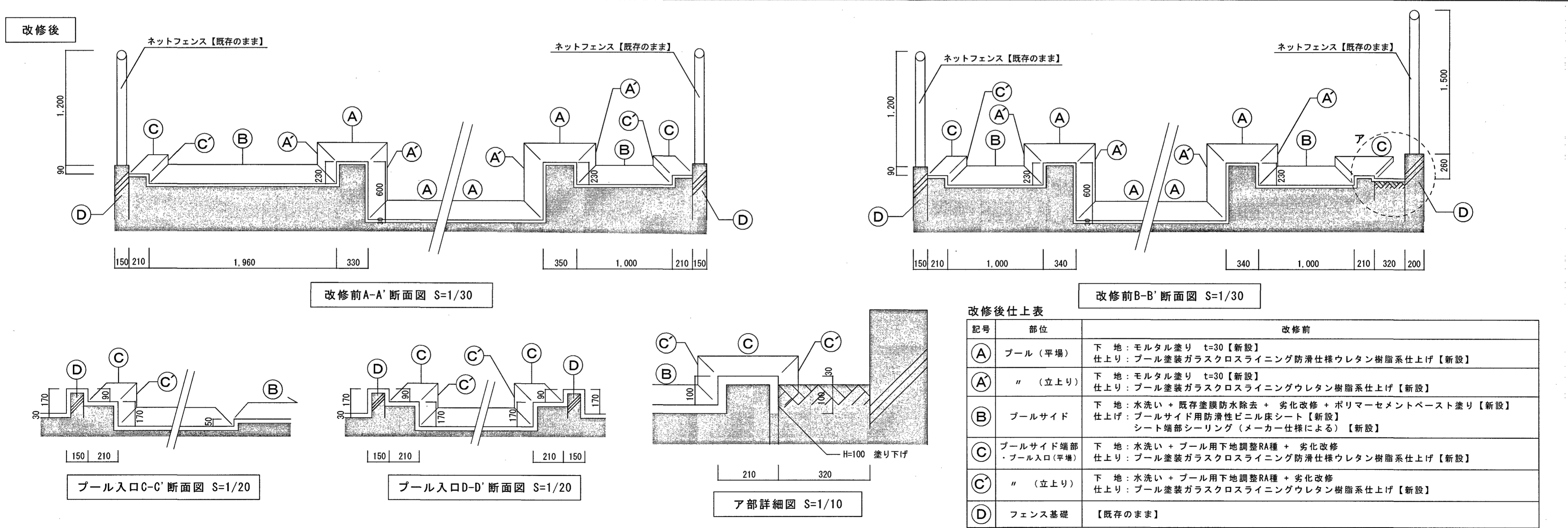


改修前B-B'断面図 S=1/30

改修前仕上表

記号	部位	改修前
A	プール	モルタル下地ウレタン防水【撤去】
B	プールサイド	モルタル下地【既存のまま】ウレタン防水【除去】
C	プールサイド端部・プール入口	モルタル下地【既存のまま】ウレタン防水【除去】
D	フェンス基礎	コンクリート打直し仕上げ【既存のまま】

▶: カッター入れを表す



改修前B-B'断面図 S=1/30

改修後仕上表

記号	部位	改修前
A	プール(平場)	下地: モルタル塗り t=30【新設】 仕上り: プール塗装ガラスクロスライニング防滑仕様ウレタン樹脂系仕上げ【新設】
A'	"(立上り)	下地: モルタル塗り t=30【新設】 仕上り: プール塗装ガラスクロスライニングウレタン樹脂系仕上げ【新設】
B	プールサイド	下地: 水洗い + 既存塗膜防水除去 + 劣化改修 + ポリマーセメントペースト塗り【新設】 仕上げ: プールサイド用防滑性ビニル床シート【新設】 シート端部シーリング(メーカー仕様による)【新設】
C	プールサイド端部・プール入口(平場)	下地: 水洗い + プール用下地調整RA種 + 劣化改修 仕上り: プール塗装ガラスクロスライニング防滑仕様ウレタン樹脂系仕上げ【新設】
C'	"(立上り)	下地: 水洗い + プール用下地調整RA種 + 劣化改修 仕上り: プール塗装ガラスクロスライニングウレタン樹脂系仕上げ【新設】
D	フェンス基礎	【既存のまま】

高知市 都市建設部 公共建築課

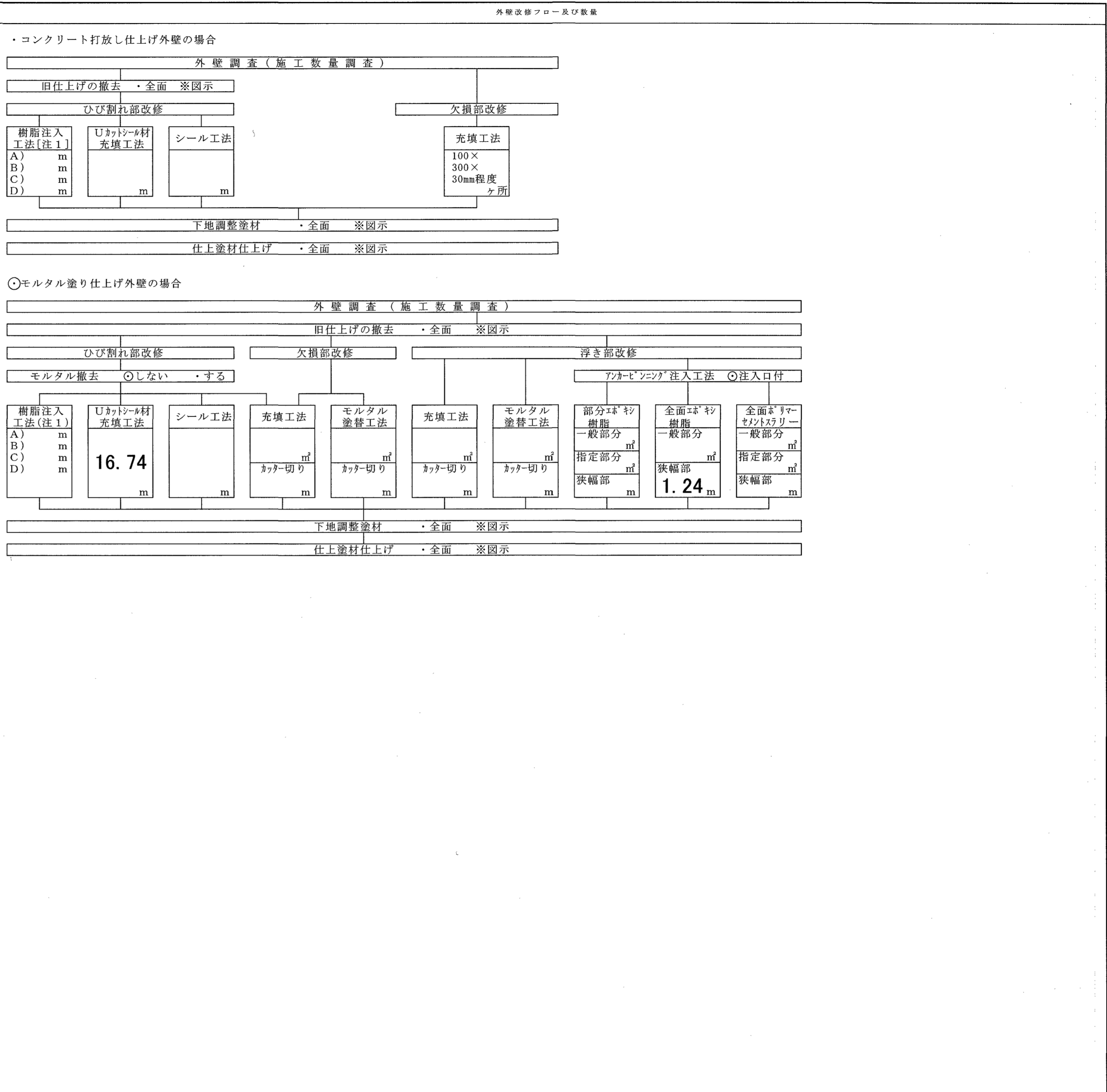
工事名	春野中央保育園プール塗装改修工事	係	鈴木	係長	菅岡	課長補佐	松本	課長	高木	図面番号	A-07
図面名	改修前断面図・改修後断面図	縮尺	S=1/30・1/20・1/10	作図	令和6年10月	日					

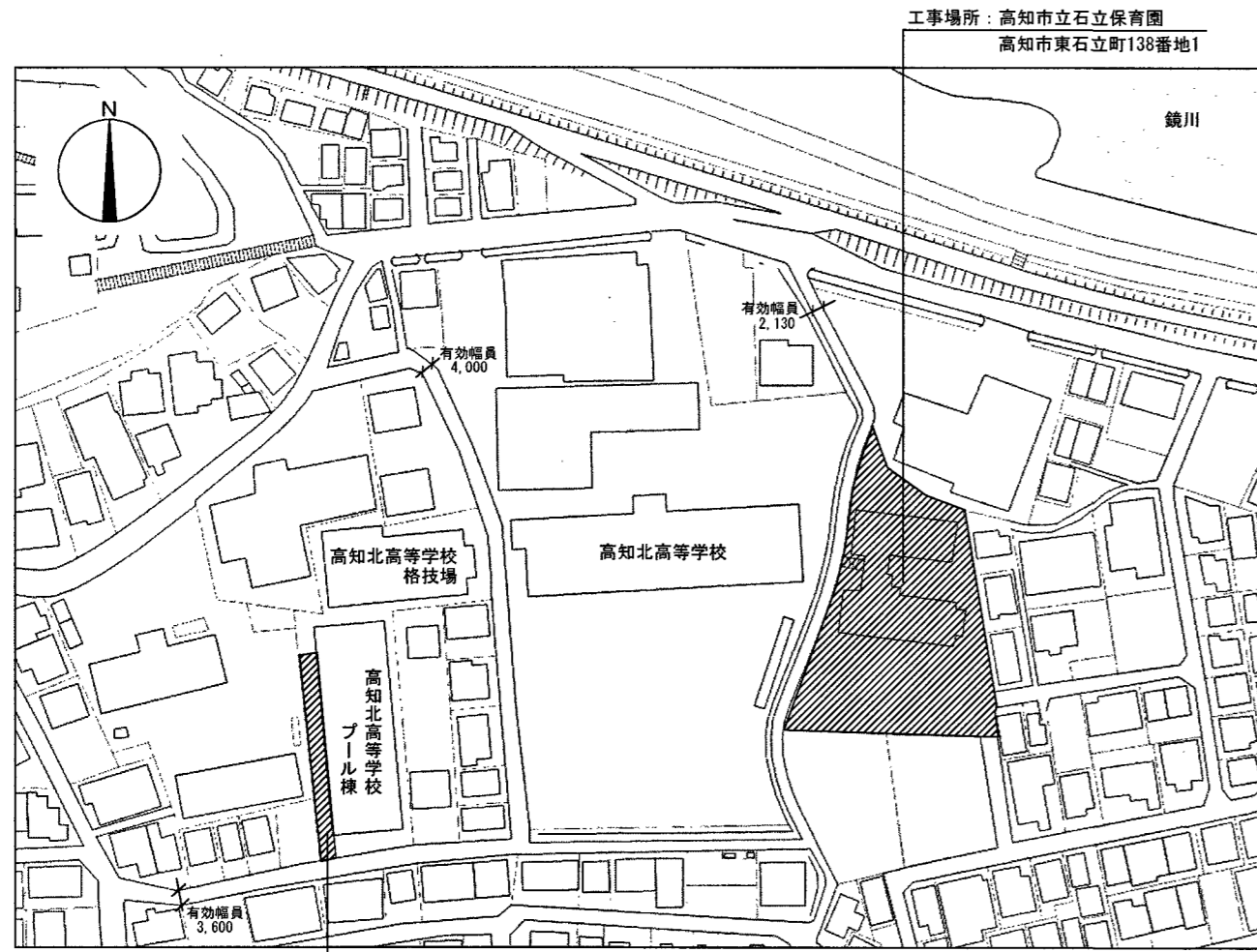
石立保育園プール塗装改修工事

No	図面リスト
A-01	改修特記仕様書 (1)
A-02	改修特記仕様書 (2)
A-03	改修特記仕様書 (3)
A-04	附近見取図, 配置図兼 1 階仮設計画図
A-05	平面図, 展開図, 仕上表
A-06	断面図
A-07	劣化改修図

Main project specification table with columns for Item (項目), Remarks (特記事項), and various technical details. Includes sections for photography, waterproofing, demolition, painting, and pool construction.

項目	特記事項																																																																														
外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ																																																																															
① ひび割れ部改修工法	<p>※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(mL/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※ 200~300</td> <td>※製造所の仕様・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>・ 50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>・ 100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>・ 150~250</td> <td>※130</td> </tr> </tbody> </table> <p>コア抜き検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>○Uカットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7] ・シール材 ・充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない</p> <p>○可とう性エポキシ樹脂 [4.2.7][4.3.8] ・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・ 50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・ 100~200	※70		0.5以上1.0以下	・ 150~250	※130																																																										
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)																																																																												
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様・130																																																																												
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・ 50~100	※40																																																																												
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・ 100~200	※70																																																																												
	0.5以上1.0以下	・ 150~250	※130																																																																												
2 欠損部改修工法	<p>※充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9] ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示</p>																																																																														
③ 浮き部改修工法	<p>[4.3.11~16]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類</th> <th colspan="3">アンカーピンの本数</th> <th colspan="3">注入口の箇所数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>一般部分本/m²</th> <th>指定部分本/m²</th> <th>狭幅部本/m</th> <th>一般部分箇所/m²</th> <th>指定部分箇所/m²</th> <th>狭幅部箇所/m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アンカーピンニング</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※25mL</td> </tr> <tr> <td>・部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※50mL</td> </tr> <tr> <td>・全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※25mL</td> </tr> <tr> <td>・全面ポリマーセメントモルタル注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※25mL</td> </tr> <tr> <td>○注入口付アンカーピンニング</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※50mL</td> </tr> <tr> <td>・全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※50mL</td> </tr> <tr> <td>・全面ポリマーセメントモルタル注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※50mL</td> </tr> </tbody> </table> <p>アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。 注入口付アンカーピン [4.3.5] ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm</p> <p>・充填工法 [4.2.6][4.3.7] 材料 ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示</p>	改修工法の種類	アンカーピンの本数			注入口の箇所数			備考	一般部分本/m ²	指定部分本/m ²	狭幅部本/m	一般部分箇所/m ²	指定部分箇所/m ²	狭幅部箇所/m	・アンカーピンニング	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※25mL	・部分エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※25mL	・アンカーピンニング	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※50mL	・全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※25mL	・全面ポリマーセメントモルタル注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※25mL	○注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※50mL	・全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※50mL	・全面ポリマーセメントモルタル注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※50mL
改修工法の種類	アンカーピンの本数			注入口の箇所数			備考																																																																								
	一般部分本/m ²	指定部分本/m ²	狭幅部本/m	一般部分箇所/m ²	指定部分箇所/m ²	狭幅部箇所/m																																																																									
・アンカーピンニング	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※25mL																																																																								
・部分エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※25mL																																																																								
・アンカーピンニング	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※50mL																																																																								
・全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※25mL																																																																								
・全面ポリマーセメントモルタル注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※25mL																																																																								
○注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※50mL																																																																								
・全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※50mL																																																																								
・全面ポリマーセメントモルタル注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※50mL																																																																								
左官工事																																																																															
① モルタル塗り	<p>モルタル ※現場調合材料 ・既調合材料 () (15.3.2) 既製目地材 ・適用する(形状:※図示) (15.3.2) 床の目地 ・適用する(目地割) ※2㎡程度 最大目地間隔3m程度 (15.3.5) (種類 ※押し目地)</p> <p>外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ※行う ・行わない (15.3.5)</p>																																																																														
排水工事																																																																															
① グレーチング	<p>○樹脂製グレーチング</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">型式</th> <th rowspan="2">用途</th> <th rowspan="2">適用荷重</th> <th colspan="2">メインバーピッチ</th> </tr> <tr> <th>普通目</th> <th>細目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※受枠付</td> <td>○溝ふた用 ・ますふた用</td> <td>○歩行用</td> <td>・</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○蓋のみ</td> <td>・かさあげ用 ・U字溝用</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	型式	用途	適用荷重	メインバーピッチ		普通目	細目	※受枠付	○溝ふた用 ・ますふた用	○歩行用	・	○	○蓋のみ	・かさあげ用 ・U字溝用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・	・																																																													
型式	用途				適用荷重	メインバーピッチ																																																																									
		普通目	細目																																																																												
※受枠付	○溝ふた用 ・ますふた用	○歩行用	・	○																																																																											
○蓋のみ	・かさあげ用 ・U字溝用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・	・																																																																											



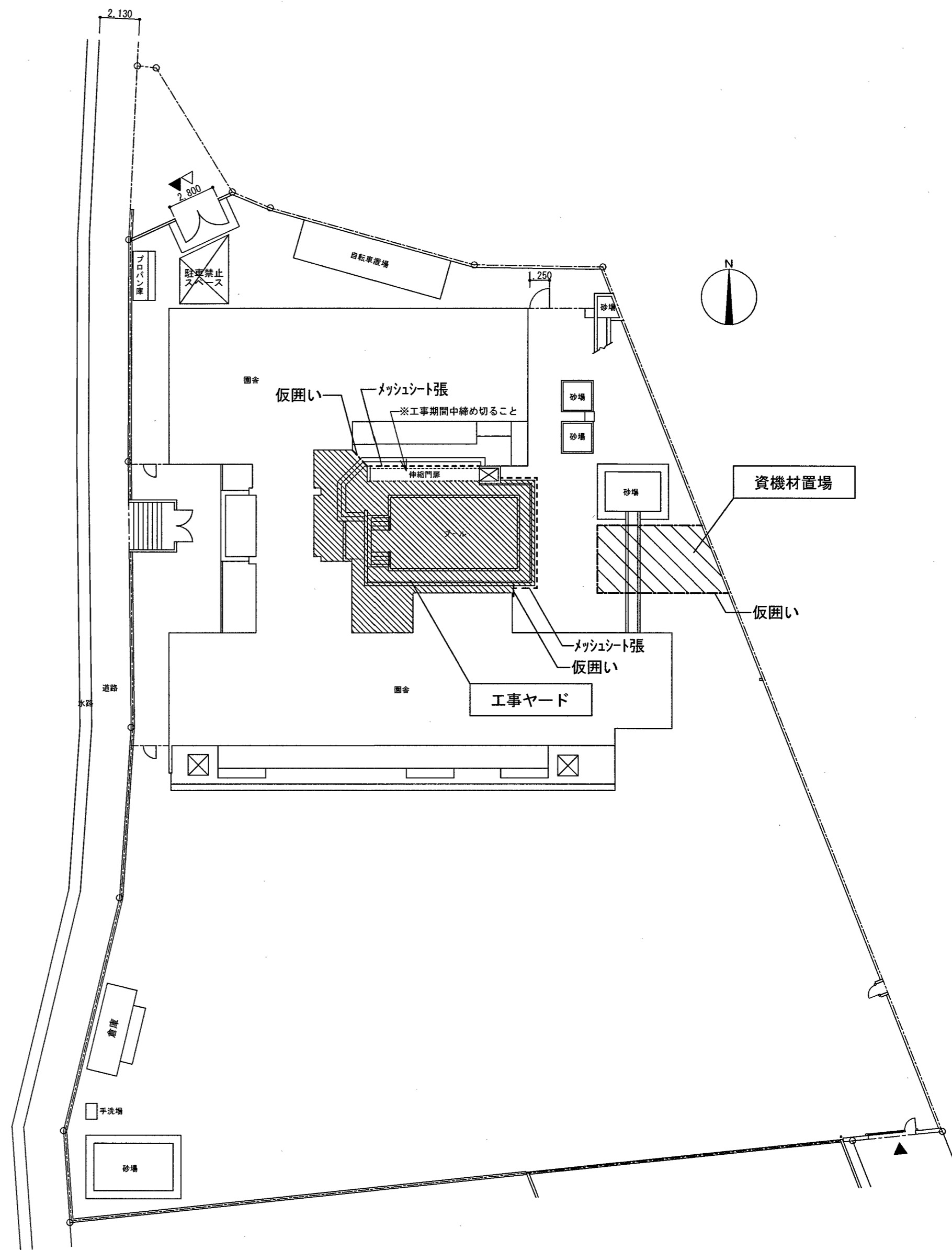


附近見取図

工事車両駐車場入口写真



有効幅員2,400

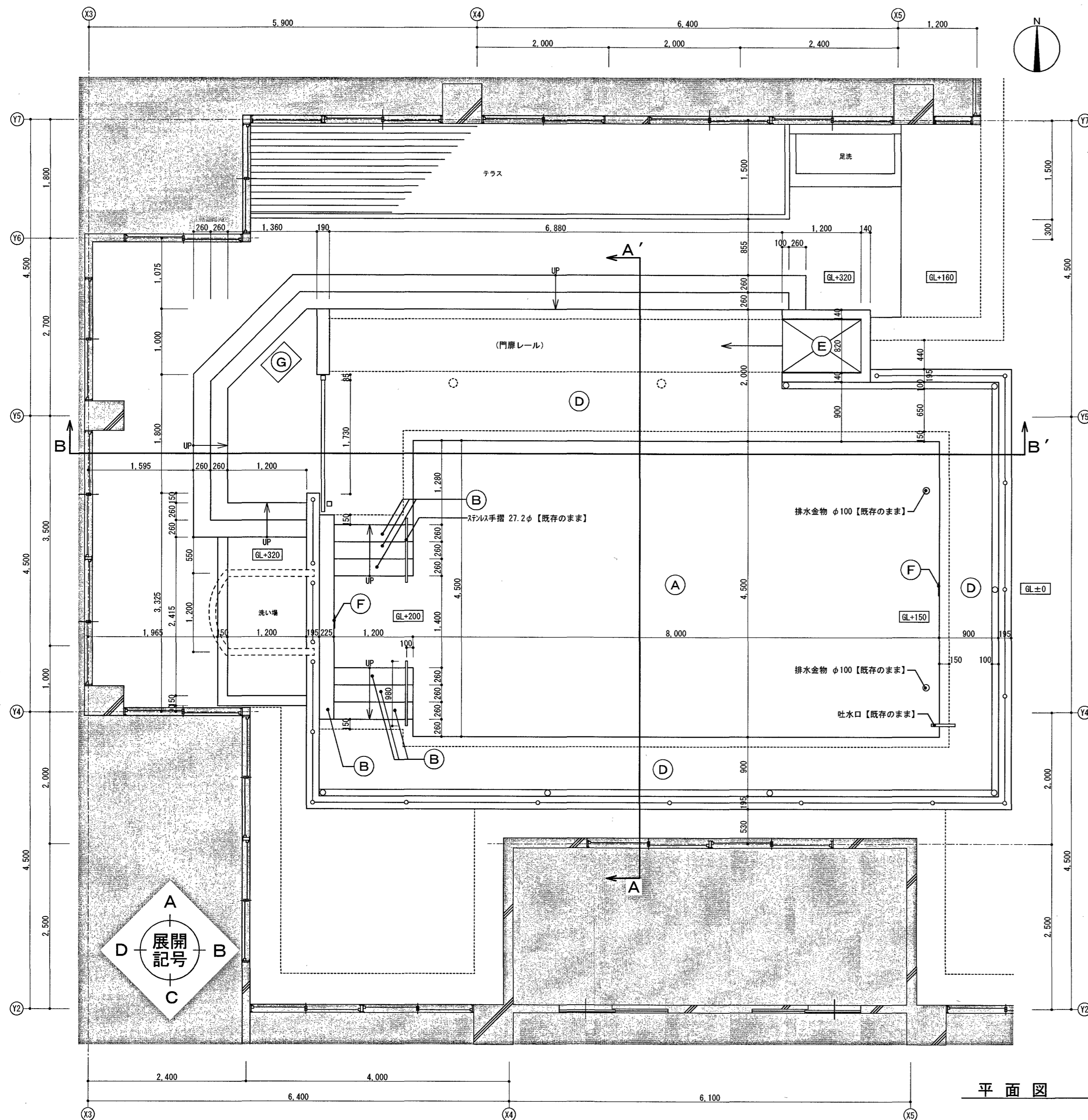


配置図兼1階仮設計画図 1/250

- : 仮囲い「プラスチックフェンス(H=1,200)程度」
- : メッシュシート張
- △ : 工事関係者出入口
- ▲ : 施設利用者出入口

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
石立保育園プール塗装改修工事	小野	笹岡	松本	岡村	A-04
図面名	附近見取図、配置図兼1階仮設計画図		縮尺	1/250	作図
				令和6年10月	日



平面図 1/50

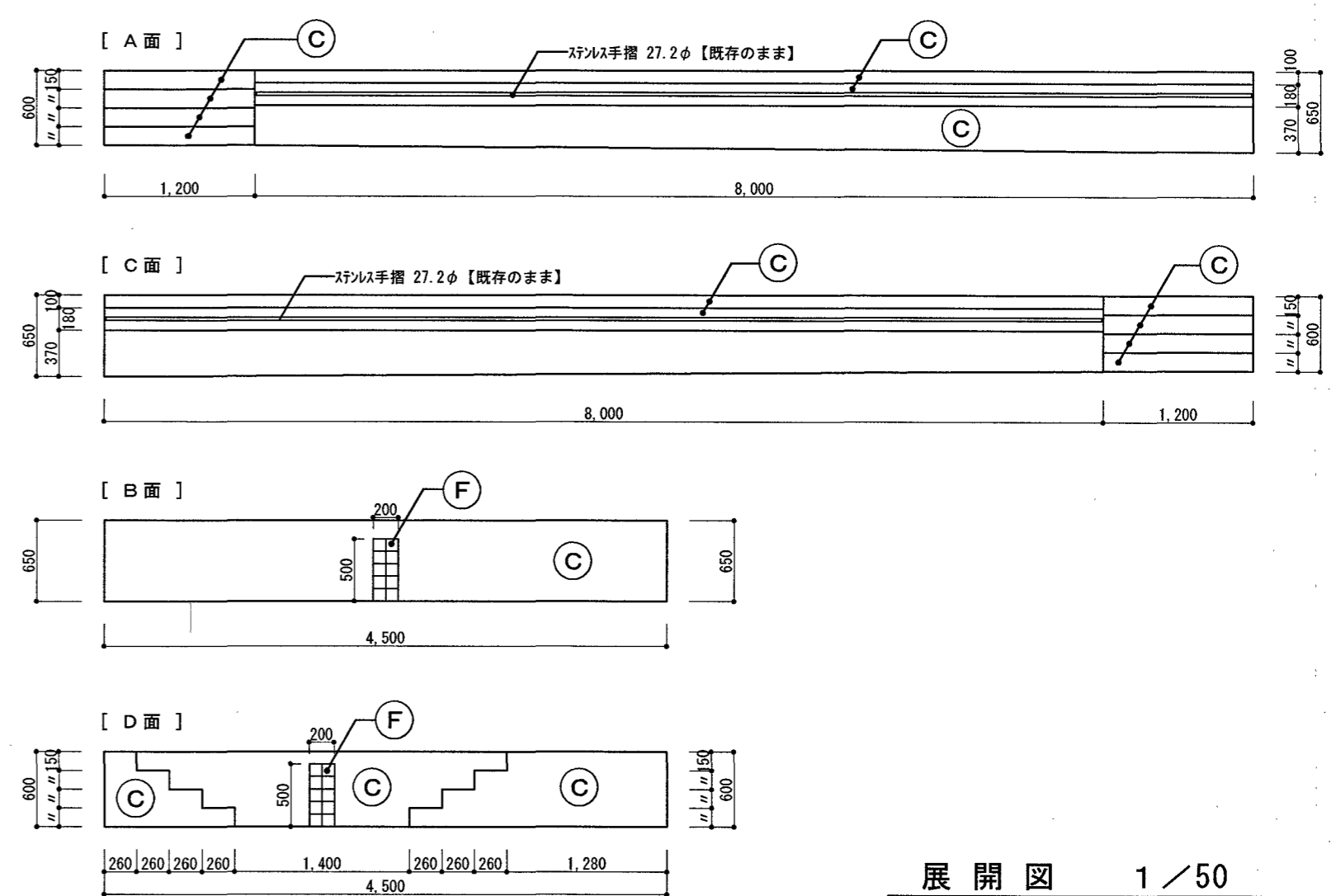
改修前仕上表

記号	部位	工法
(A)	プール(平場)	プール用塗料塗り【下地モルタル共撤去】
(B)	プール(平場)・階段踏面	プール用塗料塗り(プール内階段踏面のみ珪砂入り)【プール用下地調整RA種】
(C)	プール(立上り)	プール用塗料塗り【プール用下地調整RA種】
(D)	プールサイド	プールサイド用防滑性塩ビシート【既存のまま】
(E)	伸縮門扉	【既存のまま】
(F)	水深用タイル	100角タイル 耐凍害性磁器【既存のまま】
(G)	側溝蓋	一般溝用天然石充填グレーチング 19-2.5 350×500【蓋のみ撤去】

改修後仕上表

記号	部位	工法
(A)	プール(平場)	モルタル塗 + プール塗装カラスクロスライニング 防滑仕様ウレタン樹脂系仕上げ【新設】
(B)	プール(平場)・階段踏面	水洗い + 劣化改修 + プール塗装カラスクロスライニング 防滑仕様ウレタン樹脂系仕上げ【新設】
(C)	プール(立上り)	水洗い + 劣化改修 + プール塗装カラスクロスライニング 防滑仕様ウレタン樹脂系仕上げ【新設】
(D)	プールサイド	【既存のまま】
(E)	伸縮門扉	【既存のまま】
(F)	水深用タイル	【既存のまま】
(G)	側溝蓋	樹脂製グレーチング 350×500【新設】

※ライニング用材料は水質(学校環境衛生基準(文部科学省告示)に定める基準)に悪影響を与えない材料とする。
また、防滑性を持たせるために塗装表面に混入する材料は鋭利な角度のない微細珪砂とする。



展開図 1/50

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
石立保育園プール塗装改修工事	小野	松岡	松本	岡村	A-05
図面名	縮尺		作図		日
平面図, 展開図, 仕上表	1/50		令和 6年 10月		

劣化改修仕上表

記号	損傷状態	工法
~	ひび割れ部	Uカットシール材充填工法(可とう性エポキシ樹脂)
⊖	浮き部(狭幅部)	注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

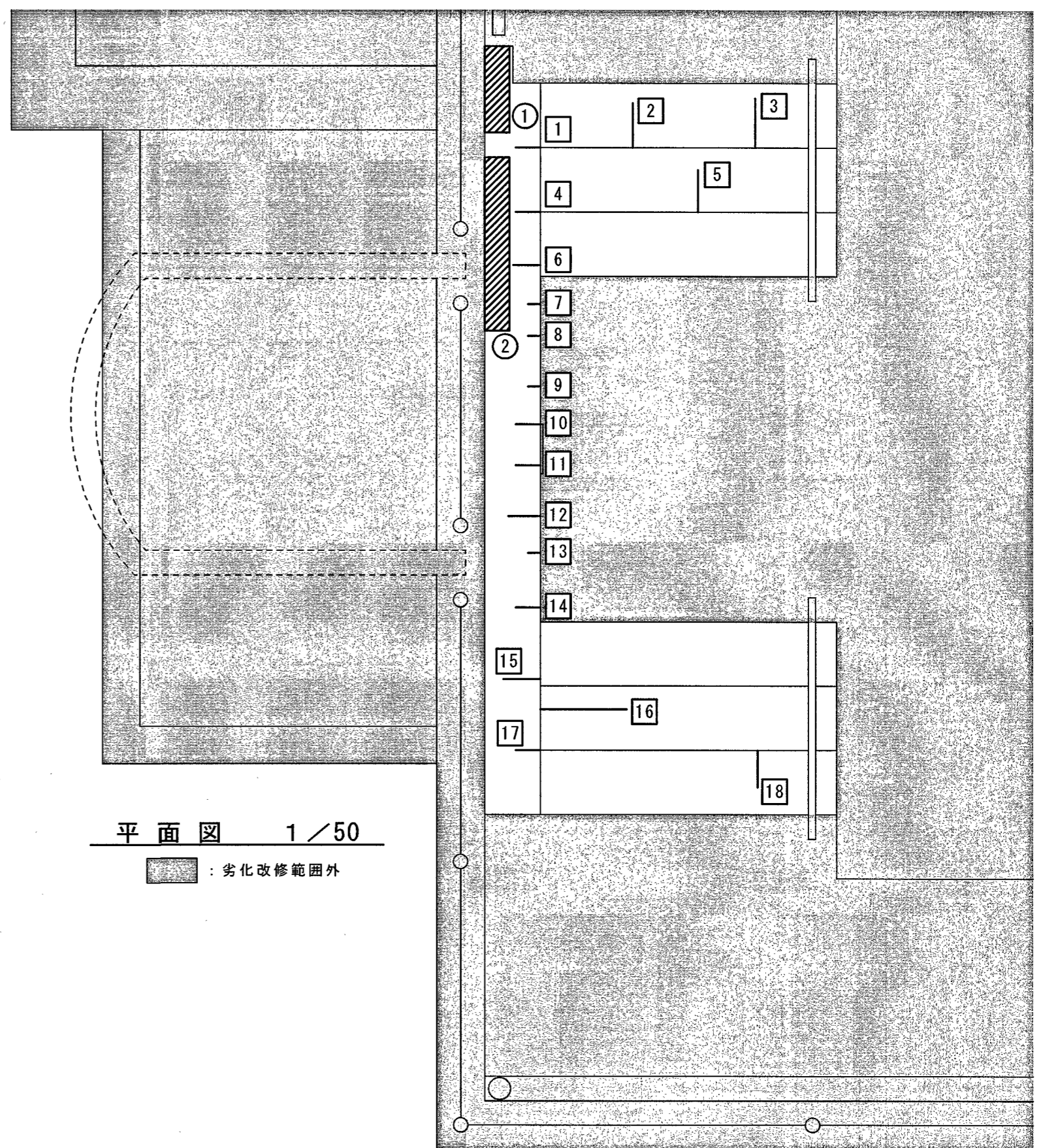
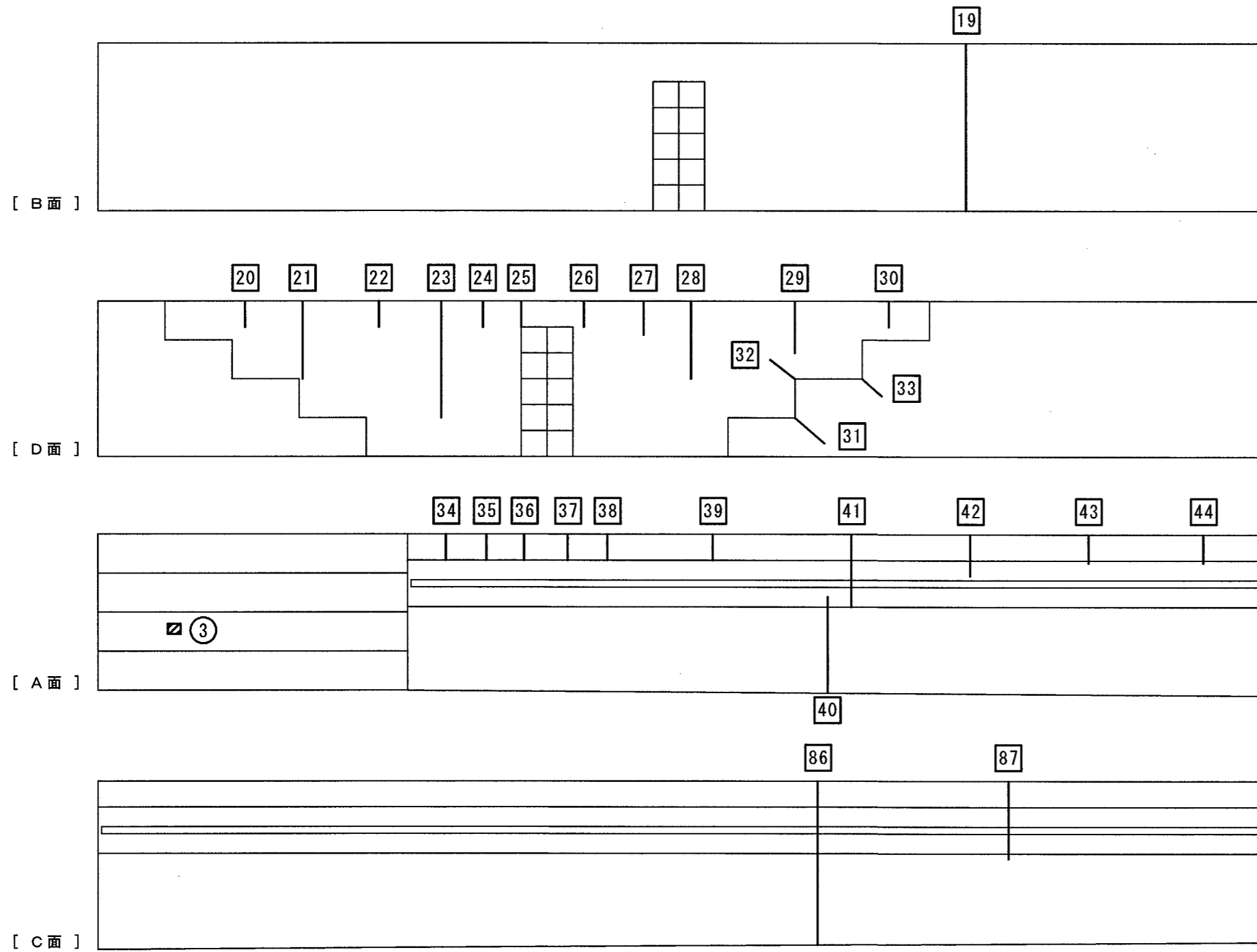
劣化改修数量表 ※工法及び数量は施工数量調査の結果により、設計変更を行う。

ひび割れ部																										
~	幅(mm)	長さ(m)	~	幅(mm)	長さ(m)	~	幅(mm)	長さ(m)	~	幅(mm)	長さ(m)	~	幅(mm)	長さ(m)	~	幅(mm)	長さ(m)	~	幅(mm)	長さ(m)						
1	0.2	0.10	11	0.2	0.10	21	0.2	0.30	31	0.2	0.20	41	0.2	0.31	51	0.2	0.30	61	0.2	0.40	71	0.2	0.19	81	0.2	0.24
2	0.2	0.18	12	0.2	0.13	22	0.2	0.10	32	0.2	0.12	42	0.2	0.16	52	0.2	0.21	62	0.2	0.11	72	0.2	0.07	82	0.2	0.18
3	0.2	0.20	13	0.2	0.05	23	0.2	0.45	33	0.2	0.15	43	0.2	0.11	53	0.2	0.16	63	0.2	0.29	73	0.2	0.15	83	0.2	0.46
4	0.2	0.10	14	0.2	0.10	24	0.2	0.10	34	0.2	0.10	44	0.2	0.11	54	0.2	0.15	64	0.2	0.18	74	0.2	0.07	84	0.2	0.10
5	0.2	0.17	15	0.2	0.15	25	0.2	0.10	35	0.2	0.10	45	0.2	0.55	55	0.2	0.29	65	0.2	0.17	75	0.2	0.05	85	0.2	0.14
6	0.2	0.11	16	0.2	0.35	26	0.2	0.10	36	0.2	0.10	46	0.2	0.12	56	0.2	0.25	66	0.2	0.06	76	0.2	0.14	86	0.4	0.65
7	0.2	0.05	17	0.2	0.10	27	0.2	0.13	37	0.2	0.10	47	0.2	0.11	57	0.2	0.20	67	0.2	0.13	77	0.2	0.13	87	0.2	0.30
8	0.2	0.05	18	0.2	0.15	28	0.2	0.30	38	0.2	0.10	48	0.2	0.12	58	0.2	0.20	68	0.2	0.20	78	0.2	0.23	88	0.7	0.65
9	0.2	0.05	19	0.5	0.65	29	0.2	0.20	39	0.2	0.10	49	0.2	0.09	59	0.2	0.11	69	0.2	0.56	79	0.2	0.10	89	0.2	0.05
10	0.2	0.10	20	0.2	0.10	30	0.2	0.10	40	0.5	0.37	50	0.2	0.12	60	0.2	0.45	70	0.2	0.21	80	0.2	0.10			

合計 16.74m

浮き部(狭幅部)			
⊖	幅(m)	長さ(m)	範囲(m ²)
①	0.10	0.35	0.035
②	0.10	0.70	0.105
③	0.04	0.05	0.002
④	0.03	0.10	0.003
⑤	0.04	0.04	0.002

合計 1.24m



平面図 1/50

劣化改修範囲外

展開図 1/50

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	石立保育園プール塗装改修工事	係長	小野	係長	菅岡	課長補佐	松本	課長	西村	図面番号	A-07
図面名	劣化改修図	縮尺	1/50	作図	令和6年10月	日					